

予 算 特 別 委 員 会

● 質問者

3月21日(火)

志賀 秀之 (いばらき自民党)
 設楽 詠美子 (民進党)
 安藤 真理子 (いばらき自民党)
 川口 政弥 (自民県政クラブ)
 鈴木 定幸 (いばらき自民党)

3月22日(水)

先崎 光 (いばらき自民党)
 島田 幸三 (いばらき自民党)
 江尻 加那 (日本共産党)
 高崎 進 (公明党)
 石井 邦一 (いばらき自民党)

志賀秀之委員(自民) 国において、国税の森林環境税(仮称)の創設に向けた検討が行われている中、本県の森林整備・保全の貴重な財源として県民に定着している茨城県森林湖沼環境税に影響しないよう、国へ要請していく必要があると考えるが、県の対応は。

総務部長 これまでも新税については、地方が独自に課税している森林環境税などとの関係を調整した上で、地方の役割などに応じた税財源を確保する仕組みとするよう要望してきた。今後も引き続き、本県の意見をしっかりと国へ伝えていくとともに、全国知事会などとも連携しながら対応していく。(ほかに、震度計の見直し、無電柱化の推進なども質問)

設楽詠美子委員(民進) 保育所のほか、ファミリーサポートセンターや病児・病後児保育などの保育サービスについて市町村間の広域連携を図るなど、待機児童のいない女性が働きやすい環境づくりを進めるべきと考えるが、どう取り組んでいくのか。

知事 待機児童解消のため、市町村と

連携した保育所整備などの受け皿拡大や、保育士確保対策に優先的に取り組んでいく。また、保育サービスについて、今後さらに市町村間の広域連携が適正かつ円滑に行われるよう、市町村と広域連携実施に当たった課題などを共有しながら、調整を図っていく。(ほかに、口腔がん対策の推進、医療人材の育成、農産物の輸出も質問)

安藤真理子委員(自民) 犬猫殺処分ゼロを目指す取り組みにおいては、保護シェルターの設置や地域猫活動における不妊去勢手術費用の助成が必要と考えるが、今後どう取り組むのか。

保健福祉部長 保護シェルターの設置については、殺処分頭数の動向などを見て、その必要性について検討していく。地域猫活動については、平成二十九年年度から活動の支援に資する予算を計上しており、今後市町村と連携し、地域猫活動への地域住民の理解と合意を得た上、技術的な支援と不妊去勢手術費用の助成を行っていく。(ほかに、認知症サポーターの活用、霞ヶ浦の水質保全に向けたレンコン栽培なども質問)

川口政弥委員(自民) 県南地域は東京への通勤圏であり、常磐線取手・土浦区間の利便性を高め、より一層魅力的にすることが、常磐線の利用客や定住人口の増加を目指す上で必要不可欠であると考えているが、その取り組みは。

知事 沿線市町村と一体となって、街頭キャンペーンの実施など常磐線のさらなる利用促進に努めるとともに、取手市など沿線地域の発展やイメージアップのためにも、取手・土浦区間などの利便性向上についてJR東日本へ粘り強く要望し、通勤時間帯における東京駅、品川駅への一本でも多くの乗り入れ実現を目指していく。(ほかに相野谷川、北浦川、西浦川整備、教育行政諸課題の対応なども質問)

鈴木定幸委員(自民) 東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致について、国の特別交付税措置への上乗せ助成や、交付税の対象とならない食糧費や施設改修費などに対し、県としてどのように支援するのか。

理事兼政策審議監 県では、食糧費など特別交付税の対象とならない費用も含め、市町村の実質的な負担額の二分の一を補助する制度を平成二十九年年度予算に盛り込んだ。施設改修費については、「スポーツ振興くじ助成制度」などの利便な助成制度が活用できるよう、市や関係機関との調整を図る。(ほかに、指定障害福祉サービス事業所などへの指導・監査、義援金の簡便な拠出手法なども質問)

先崎光委員(自民) 慢性的な魅力度ランキング最下位という現状を打破するため、全庁体制で本県のイメージアップに取り組むべきであり、そのための体制強化が必要と考えるが、所見は。

知事 本県のイメージアップを図る上で、何を重点的にPRするのか、庁内で情報を共有しながら効果的・効率的に発信することが極めて重要と考える。広報戦略会議のメンバーを現在の関係課長から全部局の次長とするなど充実強化し、県としてPRすべき事項などについての情報共有と全庁的かつ戦略的な広報PRに係る企画・調整を徹底するなど、今後、一層努力していく。(ほかに、防災士の育成と活用、消防団員の確保と育成なども質問)

島田幸三委員(自民) 五月と七月の中旬に小美玉市玉里地区から見る筑波山に夕日が沈む風景は「ダイヤモンド筑波」といわれ、美しく感動的である。こうした本当に感動し、自慢したくなる新たな観光スポットを探し、県民に知ってもらいべきと考えるが、所見は。

商工労働観光部長 市町村や観光事業

者など、さまざまな分野の関係者から提案いただいた場を設け、地元の人しか知らない観光スポットやお土産品など新たな観光資源を発掘していく。また、県民に対し県域テレビやラジオ、広報紙ひばり、いばらきTV、SNSなど、さまざまな方法で情報発信していく。(ほかに、さらなる茨城空港の利用促進に向けた取り組みなども質問)

江尻加那委員(共産) 一昨年九月、水戸市で三歳の男の子が虐待で亡くなったが、乳児院から家庭に戻る際、要保護児童対策地域協議会を開催し、対応すべきであった。さらに、こうした問題に対応する児童福祉司などの人数が少なく拡充が必要である。今後どう取り組んでいくのか。

保健福祉部長 今後、子どもが乳児院から家庭復帰する場合には、協議会で慎重に検討するなどして対応していく。

知事 児童福祉司を現在の五十五名から、二十九年度に六十三名、三十一年度までに七十五名とするため、計画的に人員を確保するなど体制強化に努める。(ほかに、獣医師の人員配置と処遇改善、東海第二原発の廃炉なども質問)

高崎進委員(公明) 経済的な負担の軽減として、小児マル福制度のさらなる拡充を求める声が多いが、外来自己負担・所得制限の廃止、外来の補助対象を中学三年生までとすることなど、制度の一層の拡充についての所見は。

知事 自己負担・所得制限については、限られた財源の中で福祉の裾野を広げるためには、一定の負担をお願いせざるを得ない。また、中学三年生の外来まで制度を拡充することについては、少子化対策のさらなる充実を図るために大変有効であり、今後の財政見直しなどを見ながら、前向きに検討する。(ほかに、総合治水対策、県立高等学校における災害備品の備蓄なども質問)

石井邦一委員(自民) 県北山間地域の人口減少問題の解消のためには、県北山間地域への高規格道路の早期整備が不可欠であると考えているが、どのように取り組んでいくのか。

知事 現在事業を進めている国道一八号袋田バイパスや平成二十九年年度新規に事業化する県道常陸那珂港山方線の整備について、できるだけ早く供用できるように取り組むほか、新規事業である広域連携軸形成事業により、交通や観光、地域計画など各分野の有識者で構成される道路懇話会を設置し、県北山間地域への高規格な道路の在り方などについて検討していく。(ほかに、人口減少問題、医療提供体制の整備なども質問)

第一号議案平成二十九年年度茨城県一般会計予算に対する修正案の審査

館静馬委員(自民) から、道路の陥没やびび割れ対策および河道内に堆積した土砂の撤去などに二億円、犬猫殺処分ゼロを目指すプロジェクト事業に三千万円を増額する修正案が提出されました。

修正案に対し、高崎進委員(公明) から、県議会が目指してきた財政健全化の流れとの整合性、積算根拠などに係る質疑および江尻加那委員(共産)から、増額修正の財源に関する意見表明が行われました。

※議会の増額修正権については、地方自治法第九十七条第二項の規定により認められている。